

大型作業台 軽量KKタイプ

[KKF・KKM・KKP・SUS4]

軽量大型高さ作業台

[TKKF]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げ下さいましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡下さい。



この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

- 天板の等分布耐荷重（天板全面に均等に物を置いた場合）は、
KKF・KKM・SUS4 500Kg
KKP 400Kg
TKKF 200Kg
中板・底板の等分布耐荷重（中板・底板全面に均等に物を置いた場合）は、 200Kg
引出しの等分布耐荷重（引出し全面に均等に物を置いた場合）は、 30Kg
積載荷重は、天板の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
- 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
- 引出し付製品の引出しはゆっくりと引いて下さい。引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。
- 引出し付製品の引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
- 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
- この製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。
- 本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
アジャスターはレベル調節用ですので高さ変更の為に使用しないで下さい。
- この製品を移動するときは、載せてある物を全ておろし、天板を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。
ただし、引出しのある物は鍵をかけ、鍵のないものについては、引出しを抜いて行って下さい。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

- この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。

- 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- 引出し付製品の鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。
- 引出し付製品の鍵を掛けるときは、全ての引出しを確実に閉めて下さい。閉まっていないと鍵は掛かりません。
- 引出し付製品をご使用になる前に鍵番号等は控えて下さい。
- 引出し付製品の鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入店を通じてご注文下さい。（有料となります。）
- 消耗部品には寿命があります。可動部などに異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
- アジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

- 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
- 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
- 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。
使用しますと表面材の損傷の原因となります。

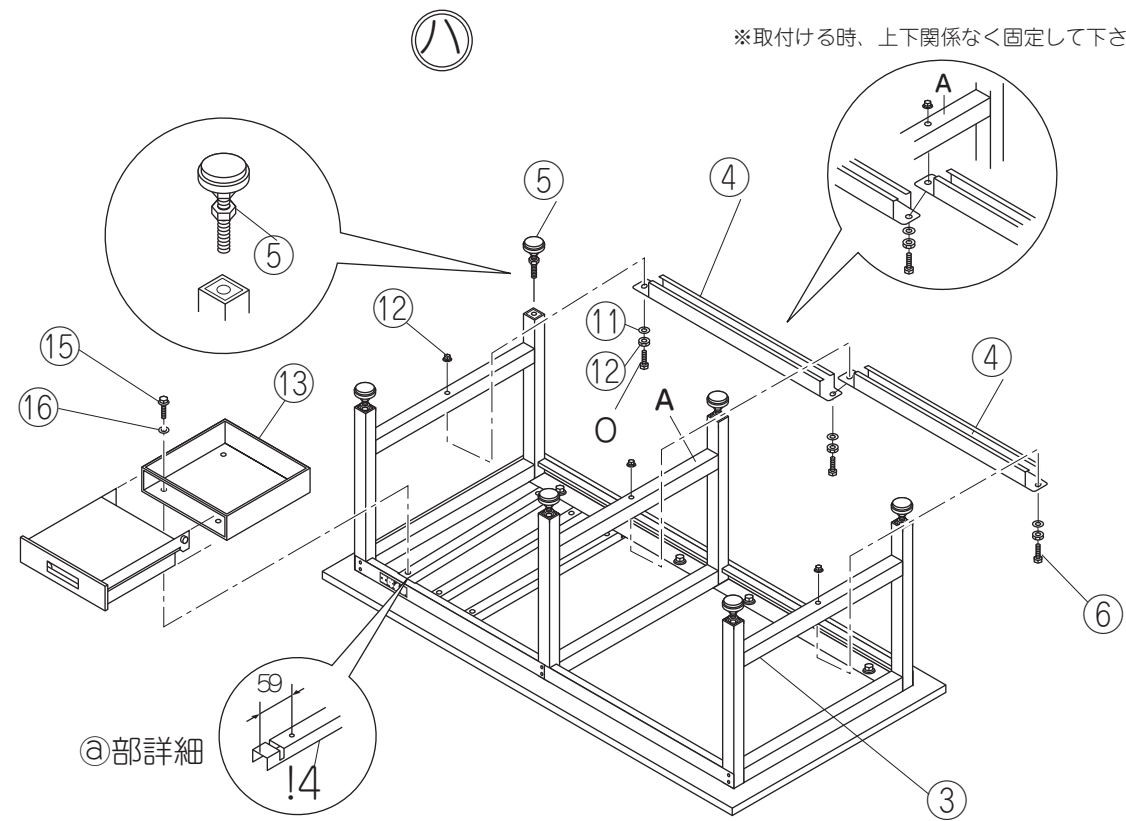
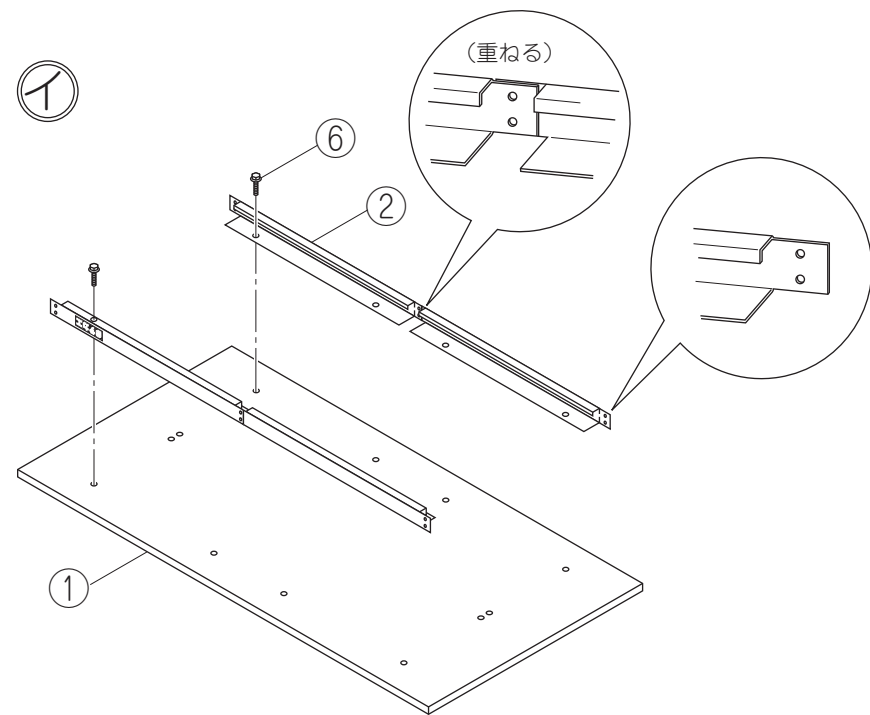
●部 品 明 細

番号	品 名	数量
1	天 板	1
2	天受けビーム	4
3	脚 フ レ ー ム	3
4	カ ン ヌ キ	2
5	アジャスター	6
6	六角アプセットセムス（M8×18ℓ）	20
7	皿小ネジ（M8×15ℓ）	4
8	補強フレーム	2
9	六角ボルト（M8×65r）	3
10	パネ座金（M8）	3
11	平座金（M8）	3
12	セレイト付フランジナット（M8）	3
13	キャビネット	1
14	キャビネット吊金具	2
15	六角ボルト（M8×14ℓ）	4
16	平 座 金（M8）	4
17	中 板	2
19	移動用スライド脚（自在車）	
20	移動用スライド脚（固定車）	

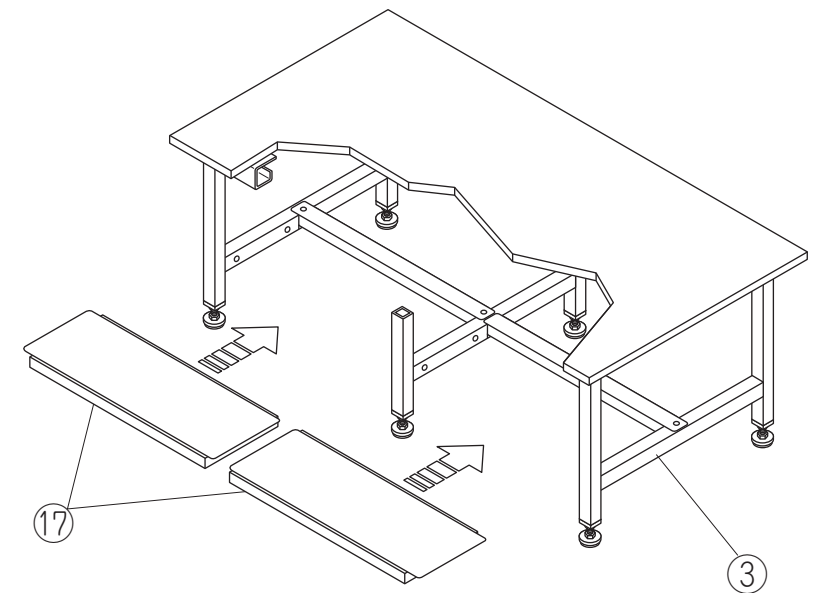
※中板取付用

《軽量作業台》

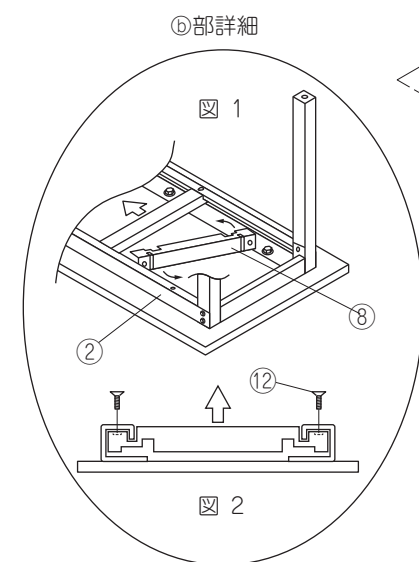
組立方法（組立ては、必ず複数で行って下さい）



＜中板が付く場合＞



中板⑬が付く場合は、中板を脚フレーム③の上から置いて下さい。



① 裏返した天板①の上に天受けビーム②を天板中央部側が重なる様に前後に各2本置き、六角アプセットセムス⑥で8ヶ所仮止めして下さい。

③ 脚フレーム③を逆さにし、③のように天受けビーム②の両端と中央に差し込み、外側より六角アプセットセムス⑦で仮止めして下さい。次に天受けビーム②と補強フレーム⑧を、皿小ネジ⑦で4ヶ所仮止めして下さい。（③部詳細）

② カンヌキ④を脚フレーム③の下から差し込み、六角アプセットセムス⑥で締めつけて下さい。次に、脚フレームの先端部に、アジャスター⑤をねじ込んで下さい。最後に、これまでの仮止め部分の全てをはずれないように本締めして下さい。

＜キャビネットが付く場合＞

任意の場所に、キャビネット吊金具⑭をセットして下さい。
キャビネット吊金具⑭を、④のように本体フレームに（③部詳細）合わせて取り付けて下さい。

＜キャビネットの取付方法＞

上記のキャビネット吊金具⑭をセットした後、キャビネット⑩の引出しを抜き裏返して、キャビネット吊金具の上に置き、六角ボルト⑫、平座金⑬ではずれないように本締めして下さい。

全てを取り付けたら、本体を起こして下さい。

《軽量大型高さ作業台 TKKF》

《高さ調整タイプについて》

脚フレームに取付けてありますスライド脚には目盛りが刻印されています。

0（最小）の所に合わせますと H740〔移動式 872〕となります。

200（最大）の所に合わせますと H940〔移動式 1072〕となります。目盛りが 0～200 の間で任意の高さに合わせてご使用になれます。

《調整方法》

まず脚フレームとスライド脚を固定している六角ボルトを軽くゆるめます。（ボルトは絶対にはずさないで下さい。故障の原因となります）
スライド脚が動くようになりますので任意の高さに調整します。終わりましたら手でボルトを締め、仮止めします。全ての脚の調整が終わりましたら、スパナ等でしっかりと固定して下さい。（ゆるく締めますと荷重等でスライド脚が縮む恐れがあり大変危険です）

△注意 六角ボルトをゆるめるとスライド脚が動くので手をはさまない様に注意して下さい

